



子どもの姿をイメージした授業づくり(展開・終末編)

2月は「にげる月」とも言われるが、本当に時間が急加速して過ぎる気がする。学校では次年度の教育計画も固まりつつあるのではないか。合わせて、先生方も、そろそろ今年度の授業実践を振り返る時期でもあると思う。振り返りの意味を込め、先月に引き続き、授業づくりについて考えてみたい。

先月は「令和の日本型学校教育」の答申から、教師は主体的な学びを支援する伴走者としての役割を果たすことを確認し、授業をイメージする力の大切さについて導入場面のイメージについて述べた。では、展開場面ではどうだろうか。展開の学びの過程に、自分で考える活動と協働する活動を位置づけている場面を見る。自分のペースで学びを進め、協働の場面で、より多くの異なる知識や情報が合わさる事で、その学習過程は質の高いものになっていくだろう。その理由は、多くの事実に基づいた知識は新たな「考え」へと形成されていくであろうし、各教科等を横断して活用できることは、日常生活でも汎用的に使ええる能力となるからである。

令和4年全国学力学習状況調査の児童生徒質問紙(43)「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」について、本市立の小中学校とも約76%であった。結果を分析しても、子ども達は話し合う事(協働)にしっかりと取り組んでいる事が伺えるし、子ども達がそのように回答していると言うことは、展開の場面では、先生方も伴走者としての立ち位置を理解し実践していると捉えることができる。おそらく本市の児童生徒の多くは、ここで、いろいろな考えや情報に触れる事で、学びが深まることを実感しているのではないだろうか。このような、多様な他者との対話の場面では、風土を整える事が重要である。話しやすい雰囲気やメンバー構成、話し合いに必要な情報の可視化など、丁寧に話し合いを支える場をイメージできれば、子どもが本来持っている学びに向かう力が高まり、質の高い学びが実現できると考える。ここで示した多様な他者とは、友達だけでなく、タブレット端末等を活用し、様々な情報と内的に対話する姿もイメージして多面・多角的な児童生徒理解で授業を展開していきたい。

次に、授業の終末では、自分の学びを振り返り、価値付けすることで、得た知識は活用できるものとなるであろう。そして、活用を通して知識の定着に繋がって行くと考ええる。それ故、授業の終末に振り返りを行うことは、大きな価値があると思う。振り返りの方法は幾つかあると思うが、基本的には言語活動は欠かせない。発表という形で振り返りを行ったとしよう。音声言語は、水面の波紋のように緩やかに広がるので、短時間で異なる多くの情報を交流するのに有効であろう。一方、ノートなどに書く方法をとった場合、文字言語として記録として残せることから、振り返りを他者と共有することに向いている。振り返りの場面の子どもをイメージして、音声言語(交流)と文字言語(共有)をその効果を考え使い分ければ、生きて働く知識に繋がるのではないか。知識は、単体ではなかなか活用しにくい。知識は活用場面での繋がりが理解できれば構造化され、実際の活用を通して、知識が更新され、使いこなせるものになると思う。

最後に、授業づくりにおいて、教師が導入場面、展開場面、終末場面において、子どもの姿をどのように明確にイメージできるかが、質の高い授業実践に繋がると思う。また、アナログデータだけでなく、デジタルデータもバランス良く取り入れることにより、個別の学びが充実され、他者との共有がこれまで以上に高品質なものになる可能性があることから、それらの活用も、授業づくりをイメージする要素に加えてほしい。教師は伴走者であることも改めて確認し、子どもの姿をイメージした授業づくりを行っていききたいものである。

2月 研究所事業予定

1(水)	中堅研⑬ 閉講式	中央公民館
2(木)	初任研⑬ 閉講式	若狭公民館
7(火)	教職2年目研修	中央公民館

119期教育研究員

新垣 仁美 研究員(幼児教育)
末吉 理恵 研究員(特別支援教育)
狩俣 高志 研究員(小・道徳科)
宮里 理枝子 研究員(中・道徳科)

21(火) 原稿検討会

独立行政法人教職員支援機構(NITS)の案内

教育研究所主催の経年研修もまとめの時期に入りました。

各研修での学びが授業改善に生かされ、子供たちの資質・能力の向上に繋げることがもちろんですが、教師自身の資質・能力の向上に繋がれば幸いです。

さて、研修対象者ではない先生方は、自らの資質・能力の向上のために、日々の業務の傍ら自己研鑽に励んでおられることと思います。しかし、思うように情報収集ができていますでしょうか。

そこで、独立行政法人教職員支援機構(NITS)の案内をいたします。

NITS 基礎的研修シリーズ

全国の学校教育関係職員に豊富で質の高い研修機会を提供するため、講義動画などの研修教材が提供されています。「校内研修シリーズ」、「新学習指導要領編」、「実践力向上シリーズ」に加え、「基礎的研修シリーズ」が作成され、3月下旬から動画配信サイトで配信予定です。

現在は、過去の動画を【基礎的な内容】としてまとめて見ることができます。ぜひ、チェックしてみてください。

